

平成25年度 加茂市・南蒲原郡教育課程部 活動報告

部長 亀倉 伸嘉

加茂市と南蒲原郡が一緒に活動する体制はない。ここでは、それぞれの活動について述べる。

1 加茂市の取組

加茂市では、「教務主任会」を通して、各校の取組の紹介や情報交換を行い、教務主任の立場から自校の教育課程・教育内容の見直しを図っている。

〈教育課程に関わる今年度の内容〉

7月：各校の「教育課程の大綱」「年間行事予定」について

10月：学校評価計画作成について

11月：各校の教育課程に関する課題について

2月：来年度の年間行事予定及び新年度教育計画作成について

〈成果と課題〉

学校評価については、内容に改善を加えたり評価方法を工夫したりと、各校で見直しを図りながら取り組んでいることが分かり、新たな視点を得ることができた。今後は、自校に合ったより有効な取組を推進していく必要がある。

各校の教育課程に関する課題について情報を共有し、それぞれの学校規模や職員構成を生かしながら、教育活動に取り組んでいることが分かった。今後はそうした工夫を活用し、自校化していく必要がある。

2 田上町（南蒲原郡）の取組

田上町では、平成22年度から、幼稚園・小学校・中学校の12年間を見据えた「田上の12か年教育」を実施している。特に重視しているのは、「各校種間の接続」と「学びの連続性」である。その推進役が田上町12か年教育推進委員会である。メンバーは町教委指導主事、各校校長・教務主任である。以下の内容を協議しながら取り組んでいる。

〈教育課程に関わる今年度の内容〉

① 幼小中の教育課題の検討

- ・ 12か年を通して育てたい子どもの姿を明確化
- ・ 町の全教職員がとるべき共通した取組の明示
- ・ 地域住民や保護者の啓発

② 算数→数学、外国語→英語の「接続プラン」の実施

③ 町ぐるみのノーテレビ・ノーゲームデイの推進

〈成果と課題〉

「ノーテレビ・ノーゲームデイ」を、私立幼稚園、町立幼稚園、小学校2校、中学校の計5園校が同日に実施した。幼小中が連携した取組のため実施効果も上がり、この取組が創り出す会話や団らんが、子どもが成長するきっかけとなっている。静かで落ち着いた環境の良さを再確認できた。また、平成23年度からスタートした幼小連携のアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムも町の教育研究協議会幼小連携教育部を中心に円滑に推進されている。保育士が両小学校を訪問し、小学校の教師と一緒に学年集団活動を行い、小学校1年生が落ち着いた小学校生活をスタートすることができた。

一方、各校ともそれぞれの目標や課題に改善の取組が求められる中、町全体で共通に取り組むことを精選しながら、自校の取組と絡ませなければならない。そのためにも、12か年教育推進委員会の協議で現場の意向や現状を把握し、子どもたちの成長につながる取組を行っていきたい。